

諏訪市内のNPO法人ハッピーライフサポート（近藤一美代表）は29日、ハッピーサロンを同市湖岸通り5の市文化センターで開き、今年102歳の元市議会議員、和田正美さん＝同市＝

諏訪でハッピーサロン

を招いて半生や人生観に学んだ。

和田さんは下伊那郡鼎村（現飯田市）に生まれ、一家で職を求めて上諏訪に移住。講話では小学生の時に上京し、のり問屋で奉公した幼少期、家族

今を懸命に生きる

102歳元市議 和田さんに学ぶ



を養うために憧れの鉄道員となって満州（現中国北東）で南満州鉄道に務め、帰郷して兵役に就いた青年時代などを語った。

半生を振り返り、「年を重ねると経験値が高まり、知っている、慣れていると思うことが増えるが、明日の自分、明日起こることは実は初めてのことだと実感するようになった」と話し、「何かを成さなくても、今を懸命

↑ 102年の半生を語る和田さん

に生きていることに最も価値がある。長い旅路、今日勝っても明日は分からないから人生に勝ち負けがあろうはずもない。無意味な存在、人生も一つもない」と述べて聴衆を勇気づけた。

さらに「太平洋戦争という暗黒の時代に突入した昭和16年（1941年）12月8日を忘れてはならない」と力を込め、「戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に伝えることは私たちの義務」と訴えた。

（日比野真由美）